

第3回 衆議院議員総選挙が行われる

10月31日に衆議院議員総選挙が行われました。これは、10月4日に召集された臨時国会で衆議院が解散したことを受けてのものです。今回の総選挙では、新型コロナウイルスへの対応や経済政策などがおもな争点となりました。

衆議院議員総選挙は、小選挙区制と比例代表制を組み合わせた小選挙区比例代表並立制がとられています。小選挙区制で289名、比例代表制で176名、計465名が選ばれました。

総務省によると、今回の投票率は約55.93%で、前回の53.68%を少し上回りましたが、戦後3番目に低い投票率でした。

政党別の獲得議席数は以下のとおりです（かっこ内は選挙前の議席数）。

与党

自由民主党（自民党）	261（276）
公明党	32（29）

野党

立憲民主党	96（109）
日本維新の会	41（11）
国民民主党	11（8）
日本共産党	10（12）
れいわ	3（1）
社会民主党（社民党）	1（1）

無所属・その他	10（12）
計	465

2021年11月2日現在

与党である自由民主党（自民党）は選挙前から15議席減らしましたが、自由民主党と連立内閣を組んできた公明党は議席を増やし、与党2党の合計の議席数は293議席となりました。

野党は、野党第一党（野党で最も議席数が多い政党）の立憲民主党が議席を減らす一方、日本維新の会が、大阪府の選挙区で議席を大きく増やし、議席数も選挙前の4倍近い41議席としました。

11月10日に**特別国会**が開かれ、**内閣総理大臣の指名**が行われます。自由民主党総裁の**岸田文雄**氏が内閣総理大臣に指名される見込みです。岸田文雄氏は、10月4日に召集された**臨時国会**で第100代の内閣総理大臣に就任したばかりですが、改めて、第101代の内閣総理大臣を務めることになります。

今回の衆議院議員総選挙と同時に最高裁判所裁判官に対する**国民審査**も実施され、対象となるすべての裁判官が信任されました。